

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども支援室みらい嘉島教室		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	途切れない療育をめざし継続的に課題に取り組んでいる。集団でのトレーニングやルールを守ってするゲーム、個別の課題などを取り入れ生活スキルや社会性を身に付ける。	それぞれの課題を職員間で共有し内容をスモールステップで考え取り組んでいる。週替わりで運動・SST・カレンダー作成・みんなで遊ぼうの活動を取り入れルールを守ることやコミュニケーションの取り方を学べるようにしている。	スモールステップの目標設定を明確にすることで「できた」が実感でき子どもの自信につながるよう支援をしていく。
2	子どもたちが安心して活動できるように環境を整え見通しをもって活動できるようにしている。 外活動ができるので、遊びのルールを学んだり野菜の収穫を体験できる環境がある。	自分の場所がわかるようにマットに名前を付ける。 机の横にパーテーションをし外部からの刺激を減らすようにしている。 外活動ではコーンを準備し安全に活動できるようにしている。 スケジュールを準備し見通しが持てるようにしている。	時間の感覚が身に着くように時計とタイマーをさらに有効に使っていく。 活動のルールをわかりやすく示し安心して過ごせるようにしていく。
3	写真や動画で療育の様子を保護者にお伝えし、子どもの成長や課題を共有できるようにしている。	ラインで写真や動画を送ることで活動の様子をお伝えしている。保護者からの相談や意見に向き合うように心がけている。	今後も保護者や学校と情報を共有し、保育所等訪問支援事業も利用しながら子どもの成長につなげていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部の方との交流が少ない	地域の行事と療育日が合わず参加が難しい。 地域の情報が入りにくい。	外部講師に来ていただいたり、地域に出ていく機会を作っていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子ども支援室みらい嘉島教室

公表日 令和8年 3月 27日

利用児童

数 26 令和8年 3月 6日

回収数 21

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1			・しきりがあり個人としての空間もつづられている	活動内容に合わせた、スペースの有効活用に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1			・子どもに向けて掲示など工夫されている	今後も個々の特性に応じた環境調整を行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21				・学習や体操などそれぞれにあった空間になっている	定期的な清掃・整理整頓を継続し、活動内容に応じた環境設定を行うことで、安心して過ごせる空間づくりに努めてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21					
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	2	2	4	・交流イベント自体はなくても連携はとっていただいていると思う	外出活動等を計画的に実施してまいります。	
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21				・参加が出来てないので申し訳ないです、タイミングが合えばまた参加したいです	後日のビデオ視聴などを検討し、より多くの方が参加しやすい体制を整えます
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21				・先生方からの意見や助言をもらえる為よく相談させて頂いています	思いに寄り添った関わりを大切にし、安心できる支援の提供に努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				・優しい先生ばかりでありがたいです	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20			1	・参加した事がないため	保護者会や交流の機会の充実を図るとともに、きょうだい児への支援についても検討してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	21				・活動中の様子を共有して頂きありがたいです	情報発信を継続し、活動内容や取り組みを分かりやすくお伝えしてまいります。
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21				・利用後は写真で活動様子が送られてくるので子どもと話の話題になっています	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	21					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	21					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	21				・子どもがよく膝や手を転んでケガしますがきちんと処置して下さってきちんと報告して下さり安心してあずかられています	事故発生時には迅速な連絡と丁寧な説明を徹底し、再発防止に努めてまいります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	2				子どもさんの気持ちに寄り添い療育の内容を考えていきます
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	1		・満足していますし、楽しく通えています ・みらいが好きで行きたがるので母、父も安心しています。しゅくじつ療育にも参加したいですが子どももそちらには興味を持ってくれず母の勤務の都合で行けない事も多いです ・学校を休んでもみらいは行きたい居場所です、金曜日の手作りおやつも楽しみにしています ・行き渋りが生じており現在相談しながら対応していただいております	子どもさんとも話をしながら保護者の方とも連携をし取り組んでいきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				・本人の姿を見ればとても成長した所、改善できた所が沢山あります。通っていたからこそ今の自信のついた彼の表情を毎日見る事が出来ているので親も頑張れます ・いつも丁寧な、こまやかに対応いただきありがとうございます	いただいたご意見に感謝し、今後も支援の質の向上と丁寧な対応に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子ども支援室みらい 嘉島教室				公表日	令和8年 3月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・送迎時に人員が必要な場合がある ・パート職員を活用している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・席の配置を考え個別の支援が必要な利用者には配慮している ・クールダウン室を準備している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・パート職員との情報共有の時間の確保が難しい。	「情報共有の時間の確保」を経営課題として位置付け、会議の持ち方を工夫する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		検討し、より信頼性の高い事業所運営へと繋げる。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・振り返りを大事にしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・学校との連携あり。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3	・まだ例がない ・まだ移行する利用者がいない	「移行支援マニュアル」を作成し、将来の就労支援事業所や学校との引継ぎフォローを確立する。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		児童発達支援センター等が主催する専門研修への参加をシフト調整等でバックアップし、全職員が外部の新しい知見に触れられる機会を平等に提供できるように努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		施設内に留まらない活動を通して、お子様が社会の多様な人々と触れ合う機会を創出し、地域社会全体で育ちを支えるインクルージョンの取り組みを推進する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		協議会等へも交代で出席し、地域全体の福祉ニーズを職員が肌で感じる機会を増やす。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	1	・保護者会はできていない ・イベントへの参加は促している	「保護者会」の定期開催や、きょうだいと一緒に参加できるレクリエーションを企画検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		地域住民に事業所の役割を正しく知っていただくことで、お子様たちが地域で温かく見守られる環境を作り、地域貢献の一翼を担う事業所を目指す。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・アレルギーの利用者がいない	今後アレルギーをお持ちのお子様をお預かりする際には、必ず医師の指示書（生活管理指導表等）の提出を求め、それに基づいた厳格な除去対応や誤食防止策を徹底する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8				